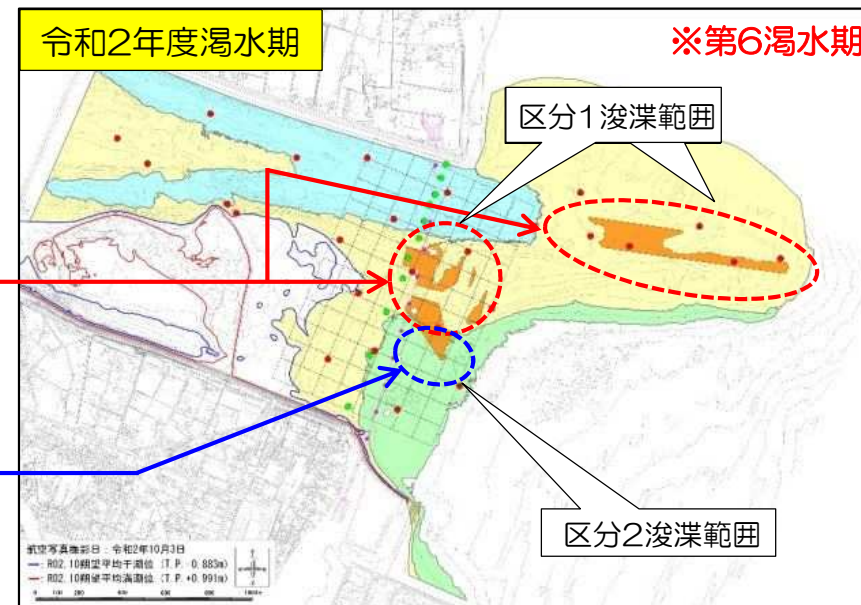
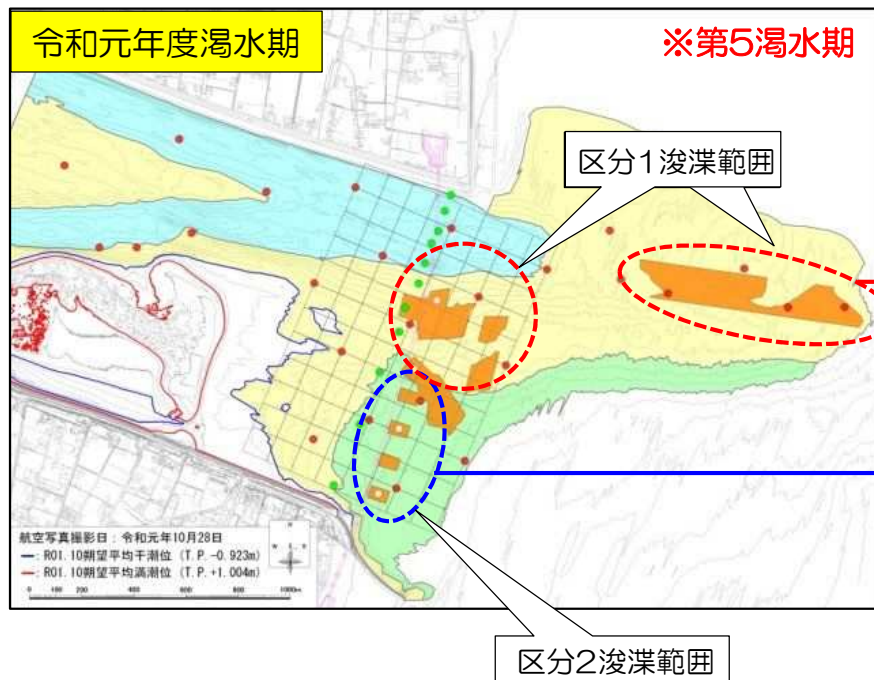


■ 浚渫の影響評価 ～区分1と区分2における影響値の減少について～



令和2年度渇水期は、令和元年度渇水期に比べて区分1、区分2ともに浚渫面積が減少したため、両区分とも影響値が減少した。**※区分2の影響に関しては過去最少の影響値となった。**



区分	ハビタット面積 (m ²)	令和元年度渇水期	
		浚渫面積 (m ²)	割合 (%)
区分1	1,837,290	153,799	8.4
区分2	453,372	39,173	8.6
区分3	695,368	0	0.0

区分	ハビタット面積 (m ²)	令和2年度渇水期	
		浚渫面積 (m ²)	割合 (%)
区分1	2,084,804	115,555	5.5
区分2	413,871	14,863	3.6
区分3	682,520	0	0.0

区分1、区分2ともに前年度渇水期に比べて浚渫面積が減少し、それに伴い影響値も両区分とも減少